

## 第5学年 体育科学習指導案

日 時 平成22年9月16日(木) 4校時

場 所 北厨川小学校体育館

児 童 5年1組(男20名女17名計37名)

指導者 武 田 典 子

### 1. 単元名 より大きなフォームで！跳び箱運動 (B 器械運動 ウ 跳び箱運動)

### 2. 目標

〈関心・意欲・態度〉

- ・友達と教えあったり助け合ったりしながら、進んで運動に取り組もうとする。
- ・学習の約束を守り、安全に気を配りながら運動しようとする。

〈思考・判断〉

- ・自分の課題の解決の仕方を知り、技のポイントを意識したり練習の場や段階を選んだりしながら運動している。

〈技能〉

- ・より安定した開脚とびやかかえ込み跳び、大きな台上前転ができる。

### 3. 単元について

#### (1) 教材について

「器械運動」は、器械・器具を使った「技」に取り組んだり、それを達成したりしたときに楽しさや喜びを味わうことができる運動領域である。また、より困難な条件の下でできるようになったり、より雄大で美しい動きができるようになったりする楽しさや喜びがある。

跳び箱運動は、いろいろな高さや向きの跳び箱を安定した動作で跳び越したり、できそうな跳び方に挑戦したりすることで楽しさや喜びを味わうことができる運動である。また、できるようになった技の中から、同じ技や異なった技を組み合わせ、タイミングを合わせて演技することで楽しむことができる運動である。

#### (2) 児童の実態について

全体的に明るく、目的に向かって努力しようとする素直な児童が多く、意欲的に運動に取り組む子ども達である。しかしながら、運動能力があまり高くない児童が男子女子ともに数名ずついる。また、女子には運動に対して苦手意識をもっている児童が多い。

1 学期の鉄棒運動の取り組みの際にも、休み時間等にも進んで逆上がりなどを練習し、全体的な技術の向上は見られたが、さまざまな要因により、結果的に逆上がりができない児童が男子に3人、女子に6人いた。これらのなかにはタオル等を使用すると逆上がりできるようになった児童もいる。

5月末に行った「器械運動の授業についての調査」の結果、できると答えた児童は、開脚とび30名、かかえ込み跳び6名、台上前転18名であった。跳び箱運動を好きと感じている児童が30名と多く、できない技でも練習すればできるようになると前向きに考えている児童が多い。

### (3) 指導について

本単元では、安定した繰り返し系の技とその発展技に挑戦できるようにするために、基礎的な感覚や動きづくりに取り組む。単元を通して準備運動で「跳び箱セットメニュー」を取り入れ、①ステージへの跳び上がり・前回り、②ステージからのうさぎ跳び・回転下り、③カエルの足打ちからの前転、④連続うさぎ跳び、⑤壁のぼり逆立ちからの前転、⑤連続馬跳びの6つの基礎的な能力や感覚を養う易しい運動を行う。

主運動の際には、自分の課題を解決するための練習の場や練習方法を選ばせたり、技のポイントを考えさせたりする。そのために、今自分がその技のどの段階までできていて、次の課題は何か分かるような資料を提示する。単元の後半では、できたところまでの技をグループでシンクロさせる意識をもたせることで、友達と合わせて演技をする楽しさ・喜びを味わわせたい。

#### 【研究との関わり】

##### 研究内容

- ① 教材および単元計画の工夫・改善
  - ・単元を通して安定した台上前転・大きな台上前転に取り組むことで、できた喜びや出来栄の美しさを味わわせたい。
  - ・集団跳びを学習に位置付け、友だちと合わせる喜びや楽しさを味わわせる。
- ② 運動技能ポイントの活かし方
  - ・セットメニューが基礎的な動き・基本的な技になっていることを理解させ、運動のポイントを考える時のヒントとする。
  - ・児童がポイントを理解し、意識して練習できるような場を設定する。
- ③ 運動の特性に即した活動の取り入れ方
  - ・技の系統性に即して基礎的な感覚づくりや動きづくりをし、児童の技能を高めていきたい。
  - ・今自分がその技のどの段階までできていて、次の課題は何か分かるような学習の進め方をしたり資料を準備したりし、児童が見通しを持って意欲的に学習に取り組めるようにする。

#### 4. 指導計画（2学年のまとめりとして）

##### 5年生（8時間扱い）

時	1	2	3	4	5	6	7	8	
15  30	オリエンテーション ・学習のねらい ・学習の進め方 ・セットメニュー ・場作り ・学習の約束	跳び箱セットメニュー (①テージへの跳び上がり・ステージからのうさぎ跳び・回転下り ②セーフティーマットへの前転 ③壁のぼり逆立ちからの前転 ④連続馬跳び ⑤連続うさぎ跳び ⑥カエルの足打ちからの前転)							発表会練習
		基本的な技（切り返し系の技） ・安定した開脚跳び ・大きな開脚跳び ・かかえ込み跳び		発展的な技（回転系の技） ・安定した台上前転 ・大きな台上前転 ・首はね跳び					発表会
45	学習のふりかえり								

##### 6年生（8時間扱い）

時	1	2	3	4	5	6	7	8	
15  30	オリエンテーション ・学習のねらい ・学習の進め方 ・セットメニュー ・場作り ・学習の約束	跳び箱セットメニュー (①テージへの跳び上がり・ステージからのうさぎ跳び・回転下り ②セーフティーマットへの前転 ③壁のぼり逆立ちからの前転 ④アンテナブリッジ ⑤連続うさぎ跳び ⑥カエルの足打ちからの前転)							発表会練習
		基本的な技（切り返し系の技） ・安定した開脚跳び ・大きな開脚跳び ・かかえ込み跳び		発展的な技（回転系の技） ・安定した台上前転 ・大きな台上前転 ・首はね跳び ・頭はね跳び					発表会
45	学習のふりかえり								

#### 5. 評価の計画

時間	主な学習活動	学習活動における具体的評価規準		
		A：十分満足と判断できる状況 B：概ね満足できる状況		
		関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能
1	・オリエンテーション。 ・学習の見通しをもつ。 ・授業の流れ等を把握し、授業の約束事を確認する。		・学習のねらいや進め方を理解し（A：体育ノートから）見通しをもととしている。[発言・学習感想]	
2	・セットメニュー ・今できる技に取り組む。 ・開脚跳びのポイントを考える。	・友達と助け合いながら（A：自ら進んで）準備や後片付けをしたり、運動したりしようとする。 [観察]		

3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セットメニュー</li> <li>・今できる技に取り組む。</li> <li>・開脚跳びの練習をする。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した開脚跳びができる。(A：大きな動作で) [観察]</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セットメニュー</li> <li>・今できる技に取り組む。</li> <li>・かかえ込み跳びのポイントを考える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかえ込み跳びの技のポイントについて (A：自分の体験や動きをもとに) 考えている。[発言・ノート]</li> </ul>	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セットメニュー</li> <li>・今できる技に取り組む。</li> <li>・工夫した場でかかえ込み跳びの練習をする。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・(A：縦向きの跳び箱で) かかえ込み跳びができる。 [観察]</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セットメニュー</li> <li>・今できる技に取り組む。</li> <li>・安定した台上前転のポイントを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技のポイントについて教え合いながら (A：積極的に) 練習しようとする。 [観察]</li> </ul>		
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セットメニュー</li> <li>・大きな台上前転の基礎的技能を身に付ける。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・台上前転の技のポイントについて (A：自分の体験や動きをもとに) 考えている。 [発言・ノート]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(A：大きな動作で) 台上前転ができる。 [</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セットメニュー</li> <li>・練習をする。</li> <li>・発表会をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約束を守り助け合って運動したり、場や機械・器具の安全に気を配ったりして (A：自ら進んで) 取り組もうとする。 [観察]</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・(A：大きな) 開脚跳びや台上前転、(A：縦向き) かかえ込み跳びができる。 [観察]</li> </ul>
努力を要する状況に対する支援の手立て		<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備や後片付けの仕方を具体的に教える。</li> <li>・励ましたり、賞賛したりしながら学習に取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導資料や友達演技をもとにしながら助言する。</li> <li>・できる段階にフィードバックさせながら指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スモールステップの段階的な場を用意する。</li> <li>・補助する。</li> </ul>

7. 本時の指導

(1) 本時の目標

かかえこみとびができるための運動のポイントを見つけることができる。

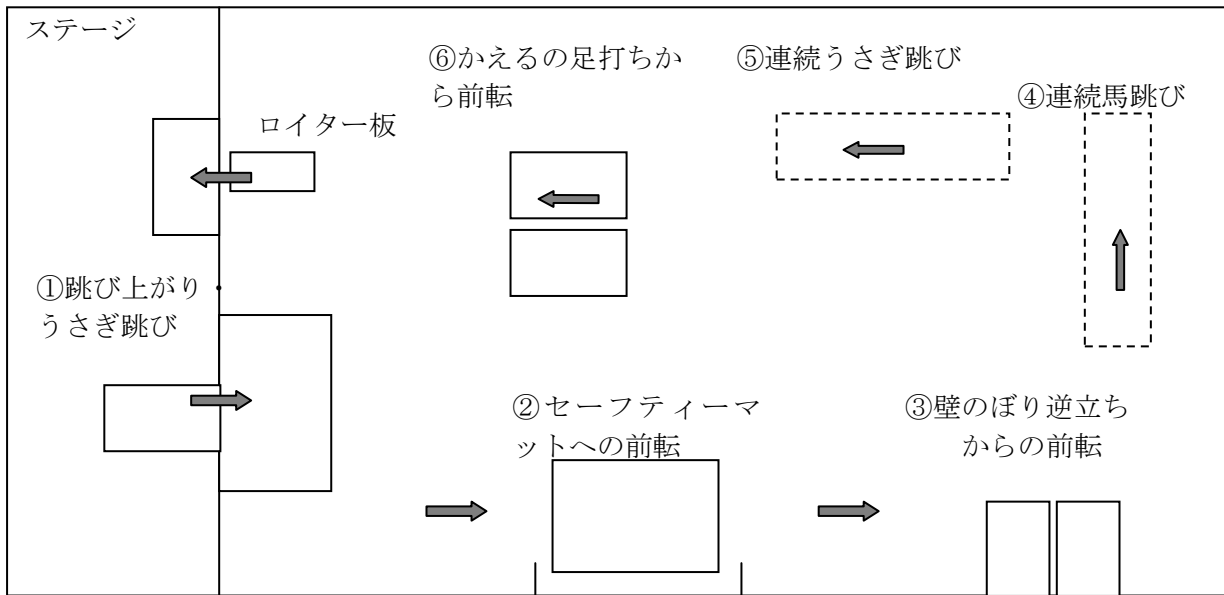
[思考・判断]

(2) 展開

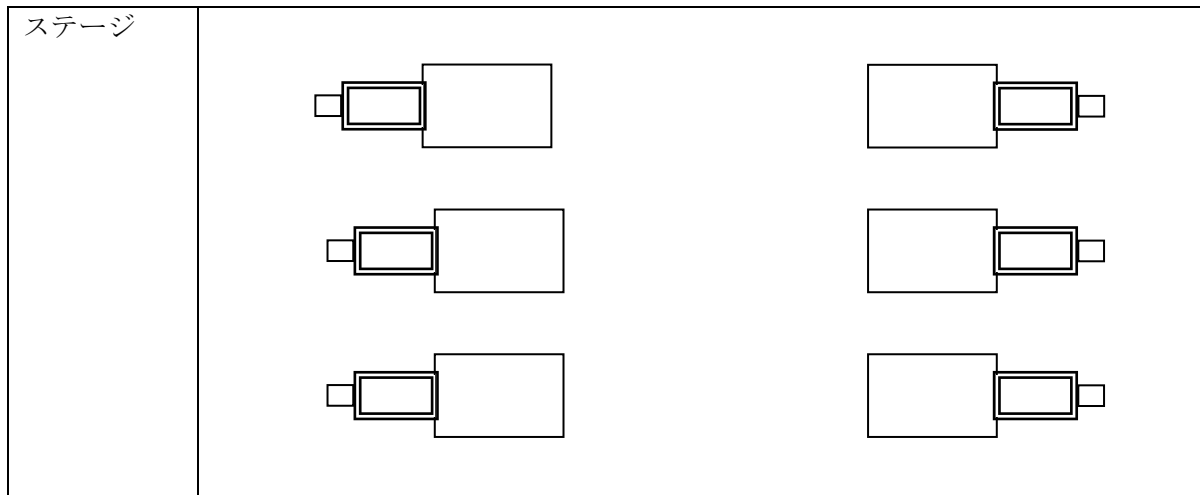
段階	学習活動	時間	指導上の留意点 (○) 研究にかかわる手立て (◎) 評価規準 (☆) 評価方法 (*)	用具資料
導入	<p>1 場づくり・挨拶</p> <p>2 跳び箱セットメニュー [場1]</p> <p>① ステージからの跳び上がり・うさぎとびおり</p> <p>② セーフティーマットへの前転</p> <p>③ 壁のぼり逆立ちからの前転</p> <p>④ 連続馬跳び</p> <p>⑤ 連続うさぎ跳び</p> <p>⑥ カエルの足打ちからの前転</p>	8	<p>○ すぐに場づくりをし、終わり次第挨拶をさせる。</p> <p>○ 跳び箱セットメニューの6つの動きをグループごとに順番に協力しながらできるようにする。</p> <p>○ 壁のぼり逆立ちからの前転の補助を中心に行う。</p> <p>○ 腰が上がっていて、大きな動作になったりしている児童を誉める。</p> <p>◎ 各運動を正確に行わせ、基礎的な能力や感覚を高められるようにする。</p>	<p>ノート</p> <p>筆記用具</p> <p>跳び箱</p> <p>踏み切り板</p> <p>ロイター板</p> <p>マット CD</p> <p>BGM</p>
展開	<p>3 グループで大きな開脚とびの技の練習 [場2]</p> <p>4 学習内容の確認</p> <p>5 かかえ込み跳びの運動のポイントを見つける [場3]</p> <p>6 かかえ込み跳びの技の練習 [場4]</p>	28	<p>○ グループごとに練習に取り組ませる。</p> <p>◎ グループでお互いの技のポイントを確認しながら、意識して練習させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>かかえこみとびができるようになるためのポイントを見つけよう。</p> </div> <p>○ 着手と空中姿勢について視点を絞り、運動のポイントを見つけることを確認する。</p> <p>○ グループごとに横の跳び箱で練習しながら、ポイントを見つける。</p> <p>◎ 見つけたポイントを発表し合い、全員で確かめる。</p> <p>○ 縦の跳び箱でもできるための運動のポイントであることを確認する。</p> <p>☆ 運動のポイントを見つけ、発表することができたか。* 観察</p> <p>○ グループ内で運動のポイントを見合いながら、練習をする。</p> <p>○ 今日の学習でできたことについて数人に発表させ、成果を認め合う。</p> <p>☆ 自分の課題を気付き、技のポイントを意識して、友達と交流しながら練習しているか。* 観察・ノート</p>	C D
終末	<p>7 まとめとふり返り</p> <p>8 挨拶・後片付け</p>	5	<p>○ 本時をふり返り、技のできばえについて自己評価させる。* ノート</p> <p>○ 安全面に留意しながら、協力して素早く後片づけをさせる。</p>	

6. 場の設定

[場1]



[場2]



[場3] [場4]

